

**中学校 保健体育科（保健分野）**  
**単元名 「感染症の予防」（第3学年）**

**1 単元の目標**

- (1) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること、感染症の多くは、発生源をなくす、感染経路の遮断、主体の抵抗力を高めることによって予防できることや、エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。
- (2) 感染症の予防について課題を発見し、疾病等にかかるリスクの軽減し健康を保持増進する方法を考え、それらを伝え合うことができるようにする。
- (3) 感染症の予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

**2 単元の評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減すること、自然環境, 社会環境, 主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に侵入し発病することについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②感染症を予防するには、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることが有効であること、感染症にかかった場合は、疾病から回復すること、周囲に感染を広げないために、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①感染症の予防について、課題を発見し、課題解決のために、自他の生活と比較したり関連付けたりするなどして、疾病等にかかるリスクを軽減し、健康の保持増進をする方法を選択している。</p> <p>②性感染症の予防について、習得した知識を関連付け、疾病等にかかるリスクを軽減する方法を考えているとともにそれらを他者に伝えている。</p>	<p>①感染症の予防について、課題の解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。</p>

**3 指導と評価の計画（3時間扱い）**

	主な学習内容・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>○感染症は、病原体が主な要因となって発生することについて理解する。</p> <p>○感染症にかかった場合は、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて理解する。</p>	①			観察 タブレット
2	<p>○感染症の多くは、発生源をなくす、感染経路の遮断、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解する。</p> <p>○感染症の予防方法について、自他の生活と比較したり関連付けたりするなどして考え、表現する。</p>	②	①		観察 タブレット
③	<p>○エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路について理解する。</p> <p>○性感染症に感染するリスクを軽減するためにはどうすればよいかを考え、伝える。</p>	③	②	①	観察 タブレット

※主体的に学習に取り組む態度の評価については、学期を通して総括することとした。

#### 4 本時の指導案（3／3時）

##### (1) 本時の目標

- 性感染症に感染するリスクを軽減するためにはどうすればよいかを習得した知識を関連付けて考えるとともに、他者に伝えることができるようにする。
- エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路について理解することができるようにする。

##### (2) 展開

段階	学習内容と学習活動	学習形態	教師の指導・支援（◆評価規準と方法）
導入	1 前時の復習を行う。 感染症の予防方法について振り返る。	一斉	○発生源をなくす、感染経路の遮断、主体の抵抗力を高めるということを確認する。 ○感染者数の増加、若者の感染も多いことなどを確認し、本時のねらいにつなげる。
	2 梅毒についてのクイズを行う。	一斉	
展開	3 性感染症の種類について理解する。 4 学習のねらいを確認する。	一斉	○教科書で性感染症の種類を確認する。
	<b>【学習課題】</b> 性感染症に感染するリスクを減らすためにはどうすればよいか考えよう。		
	5 性感染症の感染経路、特徴について、理解する。	一斉	○動画を視聴し、性感染症についての特徴を押さえる。 ○キーワードを黒板に提示することで、理解しやすくするとともに、学習活動6で、習得した知識を活用しやすいようにする。  ○1班3～4人編成の計7班で行う。
	①梅毒の感染経路や特徴についての動画を視聴する。 ②動画で紹介された内容や性感染症の特徴を確認する。	一斉	
	6 性感染症に感染するリスクを減らすためにどうすればよいかを考える。	個人	○教師用のタブレットで生徒の入力内容を把握しながら、個人や班に応じたアドバイスをする。
	<b>【発問】</b> 性感染症への感染リスクを減らすためには、どうすればよいですか。	個人	
	①個人の考えを班用の1枚のスライドにそれぞれ入力する。	個人	○関連する資料を用意することで考えが広がるようにする。 ○発表した生徒の意見を板書する。
②個人で出た考えを班で共有し、その後、他にもないか考える。	班		
③班で伝えあったことを全体で共有する。	一斉	○根拠を示すように促すことで、考えを深められるようにする。考えた根拠は、代表者がタブレット端末に入力するように促す。	
④考えたことについて、その根拠を示す。	班		
⑤班で話し合った考えを全体で共有し、整理する。	一斉	<b>◆思考・判断・表現-②（学習活動6）</b> <b>【観察・タブレット端末】</b>	
まとめ	7 本時のまとめをする。 ①本時の学習を振り返り、性感染症に感染するリスクを減らすために大切だと思うことをまとめる。 ②まとめたことを発表する。 8 本時の振り返りを行う。 今日の授業を振り返り、今後の生活にどのように生かしていきたいか考え、発表する。	個人 一斉 個人 一斉	○さまざまな意見に触れた後に、再度自分の考えを整理できるようにする。 <b>◆知識・技能-②（授業後）</b> <b>【観察・タブレット端末】</b> ○分からないこと、不安なことがあれば、教師や養護教諭、スクールカウンセラーなどに相談するよう伝え、全体指導から個別指導へとつなげる。

## 5 資料等

### ○板書計画

めあて 性感染症に感染するリスクを減らすためにはどうすればよいか考えよう。

**性感染症**

- 性器クラミジア感染症
- 梅毒 ・りん菌感染症
- 性器ヘルペスウイルス感染症
- 尖圭コンジローマ ・エイズ

**感染経路** 性的接触によって感染  
感染者の・・・

- 精液・膣分泌液・血液などの体液
- 粘膜（性器・口など）
- 皮膚（性器・口などの周辺）

↓

他の人の粘膜や皮膚に接触

**特徴**

感染

症状が出ない

潜伏期間がある

治療せずに放置

感染拡大の可能性

↓

不妊（男女とも）  
母子感染  
他の感染症への感染率上昇  
心臓・血管・脳などで合併症

**感染のリスクを減らすためには**

- 正しい知識をつける
- 性的接触をしない
- 特定のパートナーではない人と性的接触をしない
- コンドームを使用する
- 不安なときはすぐに検査を受ける
- 治療はパートナーも一緒にする

○タブレット端末 個人用（本時）

○タブレット端末 班用（本時）

**1番名前**

めあて：  
感染のリスクを減らすためにどうすればよいでしょう。理由も添えて書きましょう。

振り返り（今日学習したことを今後の生活にどのように生かしていきたいですか）

**班ノート**

感染のリスクを減らすためにどうすればよいでしょう。

○資料

**資料1**

病名(病原体)	潜伏期間	主な症状・特徴	主な治療
性器クラミジア感染症 (クラミジア・トラコマチス)	2-3週	・男性…尿道からのうみ、排尿痛など。 ・女性…多少おりのが増える程度で、症状が出ないことが多い。腹膜炎を起こし、腰痛で発症されることがある。	抗生剤の内服（薬がききにくい場合もある）
りん菌感染症 (りん菌)	2-9日	・男性…尿道からのうみ、排尿痛など。 ・女性…症状が出ないことが多い。腹膜炎を起こし、腰痛で発症されることがある。	抗生剤の内服（薬がききにくい場合もある）
性器ヘルペスウイルス感染症 (単純ヘルペスウイルス)	2-21日	性器やその周辺の痛み、水疱など。症状が出ないことが多い。再発しやすい。	抗ウイルス剤の内服など
尖圭コンジローマ (ヒトパピローマウイルス)	3週-8か月	性器やその周辺に赤のうみがたがったいぼ、痛みを伴わない。	外科的な切除など
梅毒 (梅毒トレポネーマ)	3週間程度	感染後3週間、性器や口の付け根にしこり。約3か月後から全身に赤い発疹。	抗生剤の内服・注射など

**特徴(梅毒)**

- \*症状がなくても感染する！**  
自覚症状がなくても、症状が自然に消えてしまっても、治療をしない限り梅毒の病原体はからだの中から消えていきません。自覚症状がないときにパートナーに感染させてしまったり、梅毒に感染している自覚症状のないパートナーから感染することがあります。
- \*パートナーも治療することが大切！**  
自分だけが治療してもパートナーから再感染したり、その逆もあるので、パートナーも完全に治すことが必要です。
- \*何度でも感染する！**  
梅毒は治療すれば完治する病気ですが、病原体の性質上、免疫はできないので、感染を繰り返すことがあります。治療した後も、引き続き、コンドームを正しく使用したり、気になる症状があれば早めに医療機関を受診しましょう。  
また、症状がなくても、検査を受けることで、早期発見・早期治療ができるので、定期的に検査を受けましょう。

**資料2**

**性感染症 相手が増えれば リスクも増える。**

性感染症は、自覚症状がないことが多いため、自分自身でも感染しているかどうかわかりません。感染のキケンを減らすには、複数の相手と無防備なカンケイをもたないこと。より効果的な予防のために、コンドームも忘れずに。

出典：厚生労働省 性感染症 啓発ツール リーフレット

**性的接触のつながり**

それぞれの人が過去に別のひとと性的接触の経験があるとすれば、二人につながっている人は相当な数になる。その中に感染している人がいれば……。

**資料3**

**性感染症はどうして広がるの？**

- たった一度の性行為でも性感染症に感染する可能性があります  
「たった一度の性行為でも」性感染症に感染することがあります。性感染症は、性行為の経験がある人なら誰でも感染する可能性がある病気です。
- 性感染症には無症状のものがります  
性感染症に感染しても、無症状の場合があります。そのため、感染した人が気付かないままパートナーに感染させてしまうことがあります。
- 性感染症は赤ちゃんにも感染します  
梅毒やクラミジア、HIVなどの性感染症は、母親からお腹の赤ちゃんに感染（母子感染）する可能性があります。母子感染が起きると、赤ちゃんが先天性の障害をもつ原因となったり、流産や死産を引き起こすこともあります。妊娠を希望している（または可能性のある）女性は、妊娠前に性感染症の検査を受けましょう。妊娠前に男女ともに感染していない、または完治したことを確認しておくこと、妊娠中に感染しないことで母子感染を防ぐことができます。

出典：東京都福祉保健局 東京都性感染症ナビ リーフレット 性感染症(STI)ってどんな病気？

**資料4**

**知らずに放っておくと…**

性感染症に感染しても自覚症状がないことがあります。しかし、からだの中で病気が進行します。

**性感染症は症状が重くなる可能性があります**

性感染症を治療しないでいると、骨髄炎や肝周囲炎など重症化することがあります。特に梅毒は、からだの様々な機能に障害が現れることがあります。

**性感染症は不妊症の原因になります**

性感染症を治療しないでいると、精巣の炎症や卵管の炎症などが起こることがあり、不妊の原因となります。

**性感染症は早期発見・早期治療が大切！**

早期に治療を始めることで重症化を防げます。例えばHIVは、早期に治療を開始することでエイズ発症を防ぐことができます。

出典：東京都福祉保健局 東京都性感染症ナビ リーフレット 性感染症(STI)ってどんな病気？